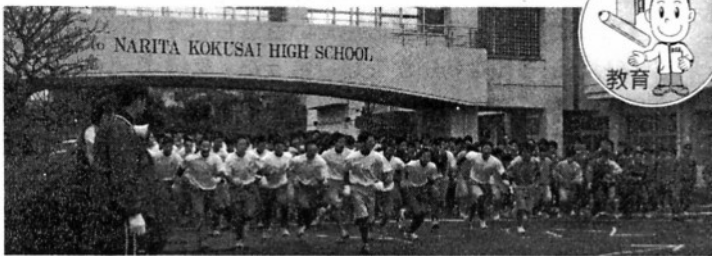


PTAがふるまう温かな豚汁が嬉しい! 成田国際高校 校内マラソン大会



男子、一斉にスタート!

雪雲が空一面を覆う16日、成田国際高校(平本武男校長)で伝統の校内マラソン大会が開催されました。コースは成田ニュータウン内の緑道で、男子8.8km、女子5.4kmを、1、2年生約600名が走り抜けました。「近年、諸般の事情からマラソン大会という行事が消えつつある中、本校ではその伝統を守りつつ、体育の授業における地道なトレーニングによる体力の向上を図り、持続走の仕上げの行事として実

施しています」と平本校長。ゴールした生徒たちを温かく迎えたのは保護者たちが大鍋で作った豚汁でした。おかわりが自由にできるようにと前日から仕込み、朝早くから調理し、1200食を用意。具の大根や人参、里芋などの野菜は、地域の農家やPTA、そのOBなどから善意で譲り受けたものだそうです。PTA会長の藤原真由美さんは「豚汁の振る舞いは3年前から始めました。今ではマラソン大会といえば豚汁だと子供たちが楽しみにしてくれているのが嬉しくて」と顔をほころばせました。

完走した生徒たちは、冷え切った身体を、優しい気持ちで温めていました。



温かな豚汁で心も身体もホカホカ